

# 大口径インサートバルブ活用

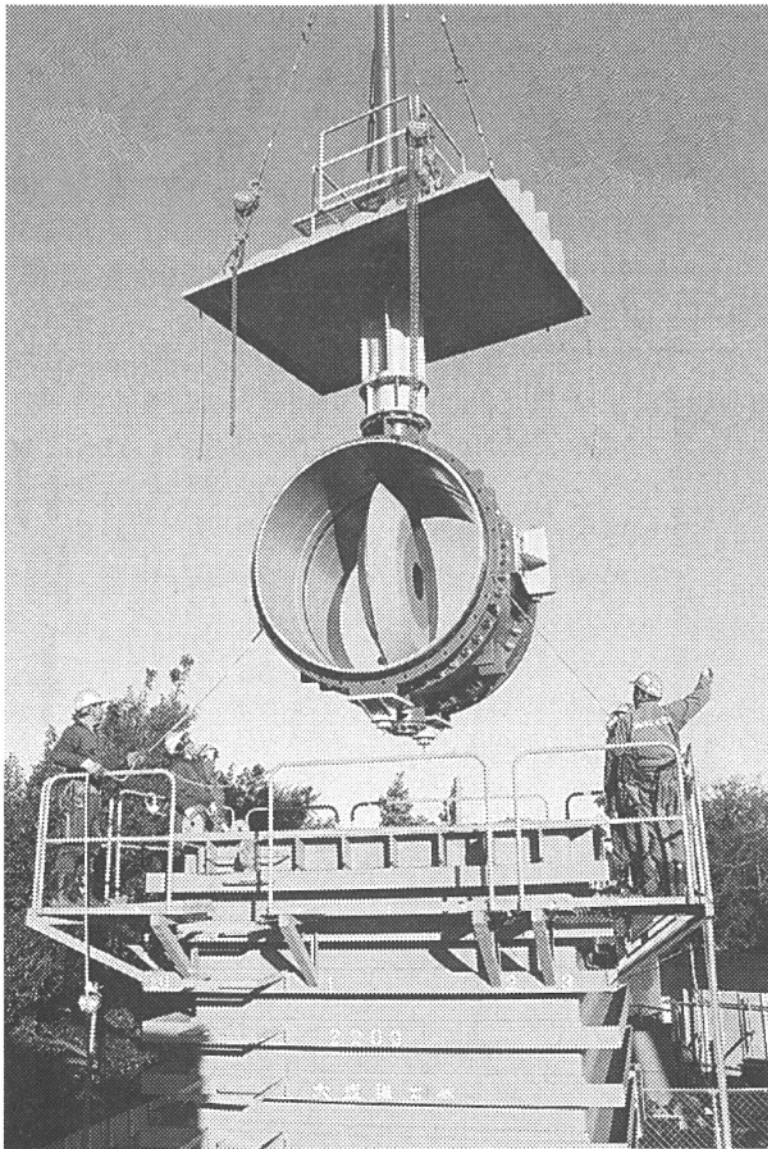
## 埼玉県 不断水工法で制水弁設置

大成機工

大成機工は、埼玉県富士見市で口径2000mmの大口径インサートバルブによる不断水工事を行った。埼玉県企業局水道部の大久保浄水場から県西部地域に生活用水を送

る西部系送水管路の共同幹線で既設制水弁が経年劣化により全閉状態とならなくなったため、今後の管路の維持管理を考慮して既設制水弁に隣接した位置に新たな制水弁を

設置した。施工期間は昨年12月2日から15日までで、バルブの設置は9日に施工した。元請はユナイテッドとなっている。インサートバルブ工法



工期の大幅短縮を実現した

は、通水したままの状態  
で既設管路の一部を切断  
撤去し、バルブを挿入・  
設置するもので、切断は  
同社独自の専用タンク内  
でバイト式パイプカッタ  
ーで管の厚みのみを削り  
取る。そのため、①通水  
を阻害しない②切り屑を  
一切管路に混入させない  
③赤水を発生させない④  
無振動で無騒音の施工が  
可能——といった特長を  
持つ。

断水することなく通水  
状態のままバルブを設  
置することができ、断水  
に伴う種々の障害を回避  
できるため、従来工法と  
比べ、送水を停止させな  
いだけでなく工期の短縮  
等も図れる。同工法は昭  
和52年の開発以来、これ  
までに約2400件の施  
工実績がある。

齋藤弘大久保浄水場長  
の話 水管橋の下流側  
で、12月9日に不断水工

法で制水弁を設置した。  
当該送水管は、県西部地  
域に送水するための重要  
な幹線であり、断水はで  
きない中での施工だった  
ので、同工法はうってつ  
けだった。しかも施工時  
間も短く、管切断からバ  
ルブ挿入までの工程を6  
時間ほどで無事完了する  
ことができた。